



2020年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月13日

上場会社名 株式会社トランザクション 上場取引所 東
 コード番号 7818 URL https://www.trans-action.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 諭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北山 善也 TEL 03-6861-5577
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年8月期第2四半期の連結業績（2019年9月1日～2020年2月29日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	8,431	3.5	1,134	8.8	1,139	7.8	746	5.2
2019年8月期第2四半期	8,144	5.8	1,042	23.1	1,056	25.1	710	31.2

（注）包括利益 2020年8月期第2四半期 831百万円（15.8%） 2019年8月期第2四半期 717百万円（47.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	25.67	—
2019年8月期第2四半期	24.83	24.71

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第2四半期	11,817	8,949	75.7
2019年8月期	11,425	8,462	74.1

（参考）自己資本 2020年8月期第2四半期 8,949百万円 2019年8月期 8,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期（予想）	—	—	—	17.00	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,602	7.0	2,271	11.0	2,283	10.1	1,518	17.9	52.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期2Q	29,375,400株	2019年8月期	29,375,400株
② 期末自己株式数	2020年8月期2Q	170,840株	2019年8月期	635,140株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期2Q	29,088,846株	2019年8月期2Q	28,590,868株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（5）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2020年4月17日に証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会をオンラインで開催する予定です。当日使用する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローの状況の分析	4
(4) 新型コロナウイルス感染拡大の影響について	5
(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる影響等から消費者マインドは弱含みの状態が続いております。一方、長期化する米中間の貿易摩擦等不透明な海外動向に加え、中国での新型コロナウイルス感染拡大による工場の休業、サプライチェーンの寸断により世界経済への悪影響が懸念されるなど、景気の先行きは著しく不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、「成長戦略・効率化戦略・経営基盤強化」を基本方針として掲げ、「トランザクショングループ中期経営計画(第3次)」の達成に向けて、魅力ある新製品の開発、成長事業の強化、製造原価の低減等の取り組みを進めました。当年度も引き続き、以下の3つのプロダクトを成長戦略の重点テーマとして注力しております。

- ・「エコプロダクト」・・・モノづくりを通じて地球、そして未来へ貢献する製品の提案
- ・「ライフスタイルプロダクト」・・・多彩なコト消費を起点とした製品の提案
- ・「ウェルネスプロダクト」・・・健やかな生活を実現するために健康リスクを低減する製品の提案

「エコプロダクト」では、オリジナル製品の主力カテゴリーであるエコバッグやタンブラー・サーモボトルの売上が引き続き好調に推移いたしました。エコバッグについては、本年7月から全小売店を対象としてレジ袋有料化が義務付けされることに先駆けて、一部の大手小売店では繰り上げて4月から有料化を予定するなど、環境問題に対する関心がさらに高まる中、各種施策を実施し取り組みを強化いたしました。また、タンブラー・サーモボトルについては、海洋汚染として注目を集めたマイクロプラスチック問題を背景に、当社の「使い捨てを使わない」という理念のもとに、引き続き「マイボトル」への取り組みを強化いたしました。

「ライフスタイルプロダクト」では、エンタテインメント業界において「ライブ・エンターテインメントEXPO」「イベント総合EXPO」の展示会に初出展し、新規顧客の拡大に向けて注力いたしました。トラベル関連製品では、オリジナルブランド「gowell」が展開する「極上トラベルギアシリーズ」「究極トラベルギアシリーズ」に加え、ポケットモンスターのキャラクターがデザインされた「ポケモン・トラベル」から新製品を投入するなどラインナップの拡充を図りました。ペットウェア・関連製品においては、英国発祥のライフスタイルブランド「LAURA ASHLEY(ローラ アッシュレイ)(※)」の新製品の販売を強化するとともに、首輪やリード、ハーネス等の周辺アイテムの拡充に努めました。

「ウェルネスプロダクト」では、次世代タバコにおいて、直営店1店舗の営業を終了し、WEB販売と卸売販売の強化を継続するなど事業全体の収益性向上に向けた取り組みを実施いたしました。

すべてのプロダクトに共通するEC事業では、各サイトにおいてSEO対策、広告の強化、製品の拡充、利便性の向上を図るとともに、WEBマーケティングを強化し、引き続き、集客力及び購買数・購買単価の向上に努めました。また、主力サイトである「MARKLESS STYLE」及び「販促スタイル」は、ユーザビリティ向上を目的としたリニューアルに向け、2020年7月予定の「MARKLESS STYLE」は開発を加速させ、その後に予定している「販促スタイル」においても並行して開発を進めました。

しかしながら、カスタムメイド雑貨製品において、中国での新型コロナウイルス感染拡大の影響から、春節(旧正月)明けに多くの現地サプライヤーの生産が停止し、納品遅延等が発生したことで、一部の売上が翌四半期へ変更となりました。

一方、生産面においては、中国及びその他アジア諸国における生産拠点の最適化を推進し、価格面と品質面で安定的な製品調達を継続したことに加え、中国での新型コロナウイルス感染拡大が製品調達に与える影響を最小限にするため、現地サプライヤーの情報収集や、中国以外からの製品調達を強化するなど対応を強化いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、84億31百万円(前年同期比2億87百万円、3.5%の増加)、営業利益は、第1四半期連結会計期間において一時的な従業員持株ESOP信託の精算費用(48百万円)により販管費の増加があったものの、売上高の伸長による売上総利益の確保及び利益率の改善により11億34百万円(前年同期比92百万円、8.8%の増加)となり、経常利益は11億39百万円(前年同期比82百万円、7.8%の増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億46百万円(前年同期比36百万円、5.2%の増加)となりました。

※ 英国 Laura Ashley Holdings Plcが経営破綻した旨報じられておりますが、日本国内では伊藤忠商事株式会社がマスターライセンス権を取得していることから、「LAURA ASHLEY」ブランドの展開に影響はございません。

当第2四半期連結累計期間における販売経路別及び製品分類別の販売実績は、以下のとおりであります。

<販売経路別販売実績>

販売経路	売上高		増減	
	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
エンドユーザー企業向け事業	4,057	4,065	8	0.2
卸売事業者向け事業	3,306	3,508	202	6.1
E C 事業及び小売り事業	780	857	76	9.8
合計	8,144	8,431	287	3.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

<製品分類別販売実績>

製品分類	売上高		増減	
	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
一般雑貨製品	4,688	4,275	△ 413	△ 8.8
エコ雑貨製品	2,778	3,474	695	25.0
ヘルスケア&ビューティ雑貨製品	570	543	△ 27	△ 4.8
デザインその他	106	138	32	29.9
合計	8,144	8,431	287	3.5

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 デザインその他は、グラフィック・プロダクト・WEBデザインの受託業務や印刷業務等の雑貨製品に該当しないものであります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ23百万円増加し、85億14百万円となりました。主な要因は、製品の増加1億45百万円、現金及び預金の減少1億57百万円によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ3億67百万円増加し、33億2百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産の増加3億10百万円、無形固定資産の増加62百万円、有形固定資産の減少4百万円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ83百万円減少し、21億86百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少1億48百万円、未払法人税等の減少94百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少38百万円、未払金を含むその他の増加1億98百万円によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、6億81百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少24百万円、退職給付に係る負債の増加14百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ4億86百万円増加し、89億49百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加2億79百万円、従業員持株E S O P信託の終了及び譲渡制限付株式報酬としての処分により自己株式が減少したことによる増加1億16百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて2億13百万円減少し、25億62百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、当第2四半期連結累計期間に得られた資金は4億3百万円(前年同期に得られた資金は1億10百万円)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益11億36百万円による資金の増加及び法人税等の支払額6億4百万円、仕入債務の減少額1億48百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、当第2四半期連結累計期間に使用した資金は1億91百万円(前年同期に使用した資金は3億53百万円)となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出2億64百万円、無形固定資産の取得による支出76百万円、定期預金の預入による支出54百万円による資金の減少並びに有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入2億57百万円による資金の増加であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、当第2四半期連結累計期間に使用した資金は4億30百万円(前年同期に使用した資金は5億56百万円)となりました。主な要因は、配当金の支払額4億65百万円による資金の減少及び長期借入れによる収入1億円による資金の増加であります。

(4) 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

エンタテインメント業界において、各種イベントが無観客開催を始めとした規模の縮小、開催の延期・中止等自粛されている状況にありましたが、これまでのところ、これら自粛による影響は限定的であります。今後については、4月7日に発令された「緊急事態宣言」により、対象地域において5月6日までの間イベント等の開催が制限されることから、イベント物販品の縮小による業績への影響は避けられないものと見込んでおります。なお、実施期間が延長された場合や実施期間終了後も自粛が継続される場合は、当社連結業績に与える影響が大きくなる可能性があります。

また、トラベル関連製品においては、外出自粛や渡航禁止などの影響により、製品需要の低下が発生し売上に影響を与え始めておりますが、連結売上高に占めるトラベル関連製品の売上割合は大きくないことから、当社連結業績に与える影響は軽微なもの見込んでおります。

一方、国内において、新型コロナウイルスの感染拡大によりマスク等衛生用品の不足は継続しており、十分に供給できる時期については不透明と言わざるを得ない状況であります。この状況に対応し、当社グループの強みである調達力を活かし、生産及び供給体制の再構築を行い、マスク等衛生用品の継続した供給に注力しております。

業績に対する影響について、現時点ではプラス面の影響が多いと見込んでおりますが、「緊急事態宣言」の影響、今後の新型コロナウイルス感染拡大の規模やスピード、収束時期等によっては、マイナス面の影響が大きくなる可能性があります。

(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、2020年3月31日公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」において、2019年10月10日の公表数値を修正いたしました。

通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響について、今後の拡大規模やスピード、収束時期等不確定な要素が多く、「緊急事態宣言」発令の影響も含め、現時点で合理的に見積もることが困難であるため、2019年10月10日の公表数値を修正せず据え置いております。当第2四半期連結累計期間の経営成績に加えて、今後の内外の景気動向や為替相場の動向、新型コロナウイルス感染症による影響等を精査し、業績予想の修正が必要であると判断した場合には速やかに公表いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,810,079	2,652,534
受取手形及び売掛金	2,251,053	2,139,109
有価証券	547,046	493,776
製品	2,490,824	2,636,099
その他	392,346	593,514
貸倒引当金	△481	△361
流動資産合計	8,490,867	8,514,672
固定資産		
有形固定資産	1,173,146	1,168,253
無形固定資産		
その他	63,461	125,782
無形固定資産合計	63,461	125,782
投資その他の資産		
投資有価証券	595,218	929,136
その他	1,107,699	1,084,180
貸倒引当金	△4,921	△4,921
投資その他の資産合計	1,697,996	2,008,395
固定資産合計	2,934,604	3,302,431
資産合計	11,425,471	11,817,103

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	925,465	777,437
1年内返済予定の長期借入金	277,812	239,448
未払法人税等	472,602	377,762
賞与引当金	149,973	158,124
株主優待引当金	15,736	9,736
ポイント引当金	8,509	6,387
その他	419,038	617,215
流動負債合計	2,269,136	2,186,112
固定負債		
長期借入金	340,471	315,917
退職給付に係る負債	307,025	321,444
資産除去債務	41,009	39,291
その他	5,100	5,100
固定負債合計	693,605	681,753
負債合計	2,962,742	2,867,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,222	93,222
資本剰余金	3,288,953	3,294,777
利益剰余金	5,301,017	5,580,747
自己株式	△246,844	△130,372
株主資本合計	8,436,349	8,838,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,645	11,129
繰延ヘッジ損益	4,046	50,468
為替換算調整勘定	21,726	38,365
退職給付に係る調整累計額	9,252	10,899
その他の包括利益累計額合計	26,380	110,862
純資産合計	8,462,729	8,949,238
負債純資産合計	11,425,471	11,817,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
売上高	8,144,270	8,431,271
売上原価	5,106,468	5,219,240
売上総利益	3,037,801	3,212,031
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	690,103	682,647
賞与引当金繰入額	123,891	134,413
退職給付費用	26,932	28,110
貸倒引当金繰入額	△1,106	△119
株主優待引当金繰入額	22,635	9,736
ポイント引当金繰入額	66	△2,121
その他	1,132,803	1,224,647
販売費及び一般管理費合計	1,995,326	2,077,314
営業利益	1,042,475	1,134,717
営業外収益		
受取利息	345	1,149
有価証券利息	12,294	12,281
受取保証料	3,466	—
助成金収入	1,080	—
その他	1,165	1,221
営業外収益合計	18,351	14,652
営業外費用		
支払利息	1,166	1,304
自己株式取得費用	591	—
為替差損	2,350	8,787
その他	81	8
営業外費用合計	4,190	10,101
経常利益	1,056,636	1,139,268
特別利益		
固定資産売却益	183	—
受取保険金	1,315	152
その他	1	—
特別利益合計	1,500	152
特別損失		
固定資産売却損	1,374	—
減損損失	24,280	—
固定資産除却損	0	2,914
特別損失合計	25,655	2,914
税金等調整前四半期純利益	1,032,481	1,136,506
法人税、住民税及び事業税	331,493	376,721
法人税等調整額	△9,057	13,166
法人税等合計	322,435	389,887
四半期純利益	710,046	746,618
親会社株主に帰属する四半期純利益	710,046	746,618

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	710,046	746,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△721	19,775
繰延ヘッジ損益	5,600	46,421
為替換算調整勘定	533	16,639
退職給付に係る調整額	2,288	1,646
その他の包括利益合計	7,701	84,482
四半期包括利益	717,747	831,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	717,747	831,101
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,032,481	1,136,506
減価償却費	56,572	59,301
減損損失	24,280	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,522	△119
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,923	8,064
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,677	16,936
株主優待引当金の増減額(△は減少)	8,198	△5,999
ポイント引当金の増減額(△は減少)	66	△2,121
投資有価証券償還損益(△は益)	△1,927	—
受取利息及び受取配当金	△12,640	△13,431
支払利息	1,166	1,304
固定資産除売却損益(△は益)	1,191	2,914
売上債権の増減額(△は増加)	△124,491	112,504
たな卸資産の増減額(△は増加)	△352,912	△145,537
仕入債務の増減額(△は減少)	△137,753	△148,190
前渡金の増減額(△は増加)	△57,049	△40,617
その他	△111,372	△16,798
小計	338,042	964,715
利息及び配当金の受取額	13,613	12,668
利息の支払額	△1,034	△1,093
法人税等の還付額	47,706	32,183
法人税等の支払額	△288,161	△604,572
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,167	403,901
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△259,725	△40,625
無形固定資産の取得による支出	△1,464	△76,039
定期預金の預入による支出	—	△54,530
投資有価証券の取得による支出	△229,641	△264,541
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	191,199	257,691
敷金及び保証金の差入による支出	△5,545	△1,031
敷金及び保証金の回収による収入	74	38,818
保険積立金の積立による支出	△48,999	△48,999
その他	226	△1,929
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353,876	△191,186
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△164,623	△162,918
自己株式の売却による収入	7,117	97,936
自己株式の取得による支出	△148,517	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	27,240	—
配当金の支払額	△377,872	△465,922
財務活動によるキャッシュ・フロー	△556,655	△430,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,747	4,440
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△797,617	△213,749
現金及び現金同等物の期首残高	3,272,884	2,775,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,475,267	2,562,235

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

当社は、当第2四半期連結累計期間において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式24,000株の処分を行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,294,777千円、自己株式が130,372千円となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。